

東海

情報提供は支所ま
たはJA中央会へ

中部支所



〒460-0003
名古屋市中区錦3-3
-8 JAあいちビ
ル西館3階







☎052(971)2020
FAX052(971)2024
Eメール
chubu-h@agrine
ws.co.jp

東海地域の中央会

岐阜中央会
☎058(276)5631
静岡中央会
☎054(284)9544
愛知中央会
☎052(951)6944
三重中央会
☎059(229)9006

今日の天気

 のち 降水確率 (%)
 時々 午前 午後 夜半

岐阜		岐阜		岐阜	
岐阜		40	30	30	
		7度		3度	
高山		60	50	50	
		3度		0度	
郡上		40	30	30	
		2度		-2度	
最高気温/最低気温					
静岡		静岡		静岡	
静岡		10	0	0	
		12度		8度	
三島			0	0	
		12度		9度	
浜松		10	10	10	
		8度		5度	
愛知		愛知		愛知	



【三重・伊勢】志摩地方の特産品、干し芋「きんこ」の加工作業が最盛期を迎えている。JA伊勢管内の生産者グループ

きんこ作り
最盛期

「芋の館」の加工場で、皮をむく作業や煮上がった芋をスライスして干す原料となるハヤトイモ1日240キロ加工

県内スーパーなどで販売 三重JA伊勢

モを1日約240キロ加工 作業に追われていた。

する。メンバーは、芋の管内では21戸がきんと

を出荷する。形状などによって分類された干し芋は、200gずつに袋詰めされた後、20袋入り箱で出荷される。総出荷量は約1万袋を見込む。県内の7市場に出荷し、県内のスーパーなどで販売する。

露された。セレモニ
では、管内4市町の首
長らが駆け付け、エビ
イモやメロンなどの特
産品を飾り付け、みん
なで完成を喜んだ。

野菜宝船は、全長約

3・6畝の土台となる船に、白ネギやレタス、キャベツといった葉物野菜の他、米やイチゴ、シイタケなど部員が栽培した約20種の農産物を隙間なく積み

ヤレンジュー」を企画。委員会では約1年前から特産野菜を使った宝船を制作しようとして取り組んできた。

中村勇貴委員長は「野菜宝船は初めての試みだったが、部員が同じ目的を持って活動し、みんなで作り上げることができ、とてもうれしい」と笑顔を見せた。

ターの屏
いてのパ
県内の水
て学び、
きっかけ
同会議
長は「水
を考えて

大二小兒童召卷

牛と触れ合い

静岡・J Aふじ
伊豆青壮年部

【静岡・ふじ伊豆】

J.A.ふじ伊豆青壮年部
伊豆の国地区本部畜産
部会は、伊豆の国市の
大美伊豆牧場で、動物
との触れ合い体験会を
開いた。同市立大仁小
学校の児童68人と同部



子牛と触れ合う児童

会員、JA職員らが参加した。

畜産部会長を務める同牧場の高橋実徳さんが牛の飼育法や動物と接する際の注意点などを説明。児童は、牛との触れ合いやヤギの餌やりを体験し、牧場で飼っている牛の頭数や掃除の回数、子牛の生まれ方などを質問をして畜産への理解を深めた。生クリームと牛乳を入れた容器を上下に振ってバター作りも体験した。

同じ目的を持って活動し、みんなで作り上げることができ、とてもうれしい」と笑顔を見せた。

手掘り体験で
ジネンジョPR
JAあいち三河部会
【あいち三河】JA
あいち三河自然薯部会
常南支部は12月上旬、
部会員の柴田清康さん

て学び、
きっかけ
同会議
長は「水
を考えて
の圃場（
地域住民
「ジネン
体験」を
ジネンジ
育ってい
てもらっ
パイプを
栽培



体験を楽しむ参加者

ン 1 れ、今年族連 30 を実 栽培